



流山市 学校教育指導の指針「学びに向かう力と自立する子どもを育む」

流山市立八木中学校 令和6年度 学校経営グランドデザイン

学校教育目標

心優しく、たくましい生徒の育成

目指す学校像

- ・わかる授業、実力がつく教育活動が展開される学校
- ・「通いがいい」「通わせがいい」が感じられる学校
- ・保護者・地域の声を聴き、信頼される学校

目指す生徒像

予測できない未来を生き抜く力をつけるために

- ・仲間、家族、周囲の人々に優しくできる生徒
- ・自ら学び続ける生徒
- ・夢に向かって努力できる活力ある生徒
- ・行動し地域や社会に貢献できる生徒

心優しく

たくましい

目指す教師像

ティーチングからコーチングへ

- ・授業力向上のために学び続ける教師
- ・明朗で、厳しくかつ温かい教師
- ・感動を伝え共有できる教師
- ・個に応じた指導や支援ができる教師

チーム八木中
協働・共助
率先垂範

明日も行きたい学校！ 会いたい先生！ 受けたい授業！！

令6年度 流山市立八木中学校 学校経営方針

I 学校教育目標

心優しく、たくましい生徒の育成

II 経営の重点

予測できない未来を生き抜く力をつけるために

1 仲間、家族、周囲の人々に優しくできる生徒

(1) 道徳性を養う体験、道徳教育の充実

- ① 感動を伴う体験活動を大切にし、達成感・成就感・自己有用感を得る。
- ② 差別やいじめをなくすために、日々の授業・教科により道徳教育の充実を図る。
- ③ Q-Uの活用により、学級経営の見直しや生徒理解を図る。

(2) コミュニケーション能力の育成

- ① 話し合い活動を通し、相手の考えを尊重しつつ、自分の考えを表現できる。
- ② 誰とでも分け隔てなく活動でき、目標に向かって努力できる。
(係活動・委員会活動・部活動の充実)

2 自ら学び続ける生徒

(1) 確かな学力の育成

- ① 新学習指導要領の趣旨を生かした、主体的な学習の授業づくりを行う。
- ② 「わかる授業」を目指し、学習課題を明確にし、指導の工夫を図る。
- ③ 生徒指導の機能を生かした授業づくりを行う。
- ④ 生徒自らの発信力を高めるための活動を意図的に仕組んでいく。
- ⑤ 読書活動の充実（司書教諭の活用、委員会活動からの啓発等）を図る。
- ⑥ タブレットを活用した学習について、効率的に活用を図る。

(2) 個に応じた指導の充実

- ① 個々の個性を理解し、困り感に寄り添い、適切な支援を行う。
- ② 特別支援コーディネーターを中心に、支援会議の開催など、校内体制の充実化を図る。
- ③ 全校での学習規律の共通理解を図る。
- ④ 学習支援の一環としてのタブレットの活用について、取り組みを行う。

3 夢に向かって努力できる活力ある生徒

(1) キャリア教育の充実

- ① 生徒の未来や夢を描ける学習指導・体験活動を行う。
- ② 新しい職業や伝統産業等、幅広く職業を知る機会を持つ。
- ③ 進路指導の充実を図り、個々の能力に合わせた指導を行う。
- ④ キャリアパスポートを通して、指導内容の引き継ぎを図る。

(2) 健康安全教育の推進と体力向上

- ① 基本的な生活習慣の大切さについて、指導を継続していく。
- ② 健康管理（感染症対策含む）や安全教育（交通安全含む）の充実を図る。
- ③ 食育の充実を図り、健やかな体づくりについて正しい知識を得る。
- ④ 体力の向上を図るため、スポーツや体力づくりに親しめる指導を行う。

(3) SDGs（持続可能な開発目標）の学習

- ① SDGsについて学び、取り組みを考える活動を行う。
- ② 世界の諸問題を自分の事としてとらえて行動できる、グローバルな視点を持った学習を取り入れる。

4 行動し地域や社会に貢献できる生徒

(1) 地域の一員としての教育

- ① 地域の行事への積極的な参加の励行。
- ② 教育活動の地域への広がりへの励行（挨拶運動や地域清掃等）。

(2) 奉仕的な活動の意義の再確認

- ① 清掃活動の充実により、奉仕的な気持ちや責任感を育む。
- ② ボランティア活動や社会に貢献する活動の紹介を行う。

(3) 小中連携した教育の推進

- ① 中1ギャップの防止に努めた、小中連携した活動について工夫を行う。
- ② 小中連携した教育活動を通し、自分よりも弱い者への労りの心を育てる。

5 教職員の指導力の向上

(1) 授業力向上のために学び続ける教師

- ① 常に新しい情報や社会の動きへの完成をもち、学ぶ喜びを伝える。
- ② 指導と評価の一体化により、説明責任を果たせる学習を展開する。
- ③ ICTや地域の人材を積極的に活用し、常に授業改善を図っていく。
- ④ 新指導要領の意義に則った授業、タブレットを活用した授業への研鑽を図る。

(2) 明朗で、厳しくかつ温かい教師

- ① 生徒理解に努め、生徒を一人の人間として尊重して接する。
- ② 生徒が身近に接する大人として、見本となるよう明るくさわやかに行動する。
- ③ 生徒に迎合することなく、どの生徒にも平等に、まずい行動には毅然と接する。
- ④ 整理整頓された教育環境で、生徒の成長を促す。
- ⑤ 生徒指導の内容について共通理解を図り、問題行動への指導は複数であたる。

(3) 感動を伝え共有できる教師

- ① 一人の人間として、自分の体験した感動を伝えていく。
- ② 子どもたちと様々な活動と一緒にいき、思いを共有する。

(4) 個に応じた指導や支援ができる教師

- ① 研修の充実を図り、個々の特性や障害に応じた指導法を身につける。
- ② インクルーシブ教育により、共生社会の実現を指導していく。
- ③ 率先垂範を心がけ、チーム八木中として、協働・共助の精神で職務にあたる。
- ④ 報告・連絡・相談を怠らず、組織の信頼が失われないように職務にあたる。

6 保護者・地域の声を聴き、信頼される学校

(1) 開かれた学校づくりの推進

- ① 保護者と地域の方々との連携を重視し、より良い教育環境を構築する。
- ② 学校だよりやホームページ、保護者メール等により、適切な情報を積極的に発信する。
- ③ コミュニティ・スクールにおいて可能な限り学校を公開し、学校理解の場とする。
- ④ 依頼に応じて地域の行事に積極的に参加し、学校理解の場とする。
- ⑤ 学校評価を通し、結果の分析を図り、学校経営に生かす。

(2) コミュニティ・スクールとの連携

- ① 地域支援協働本部やコーディネーターを中心に、地域人材の活用を図る。
- ② 地域からの学校への要望があれば、前向きに対応できるようにする。

(3) 生徒や教職員の姿

- ① 生徒の望ましい地域での姿こそが、地域に対する教育活動への説得力に最もつながることを理解する。
- ② 職員の行動や言動、校内・校外での立居振る舞いなど、気持ちよく協力いただけるように心がける。
- ③ 業務改善・働き方改革の視点を持って職務にあたる。

明日も行きたい学校！ 会いたい先生！ 受けたい授業！！